

vol.87

令和3年11月1日発行

中濃消防組合

消防だより

CHUNO FIRE DEPT. NEWS

特集

消防の「いま」と「むかし」

～中濃消防組合発足50周年～

contents

- P2 特集 消防の「いま」と「むかし」
- P4 令和3年度火災予防に関する図画(ポスター)・
習字の優秀作品紹介
- P5 人事行政の運営、給与などの状況の公表
- P6 中濃北から南から
- P8 防火・防災DVDの貸出し
おたより紹介
拍子木

むかし

昭和46年(1971年)



▲救急自動車

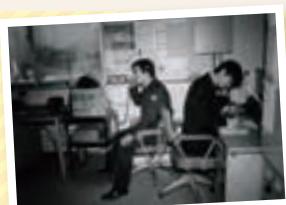


▶屈折はしご車



消防ポンプ自動車

車両



◀119受信・指令の様子



▲板取川出張所



▲美濃消防署



消防本部・関消防署

庁舎

放水訓練
(空気呼吸器) ▶

▲車両からの放水訓練



◀注水競練会

ました。

一方で高齢化社会の進展、大規模な自然災害の増加、コロナウイルス感染症など、消防を取り巻く環境は大きく変化していますが、「地域住民の皆様の安心安全の確保に取り組む」という使命はいささかも変わることはありません。

今後とも中濃消防組合の歴史の中での経験を教訓とし、使命達成に向けて職員一同全力で取り組んでいきます。

消防活動

中濃消防組合が発足して50年の節目の年を迎えることができました。昭和46年に、関市、美濃市、洞戸村、板取村、武芸川町、武儀町、上之保村の2市2町3村で設立され、総員55名でスタートした中濃消防組合は、現在は職員172名に増員され日々消防活動を行っています。

「昭和」「平成」「令和」と元号が変わる中

（中濃消防組合
発足50周年
を迎えて）

中濃消防組合
消防長 中島 昭裕



（中濃消防組合
発足50周年）

消防の「いま」と「むかし」

「車」や



▲救急自動車



はしご付自動車▶



水槽付消防ポンプ自動車

「建物」が
変わっても

▲消防指令センター



消防本部・関消防署



▲板取川出張所



◀美濃消防署

引き継がれる
知識・技術

◀火災防ぎよ訓練



▲火災防ぎよ訓練

◀特殊災害訓練



放水・検索訓練



中濃消防組合にて、幼少期から「火災から身を守る方法」を体で覚えてもらうため、様々な工夫をこらして児童防火教育を行っています。

私達消防職員にとって、火災現場や救急現場へ出場して活動することは当然の仕事です。それに加えて、幼い頃からの防火教育の中で、火遊びをしないことや、実際に、体に火が着いたときの対処方法を身に着けてもらうことにも力を入れています。

私達は、未来のある子ども達の、「自らの命は自らで守り、絶対に火事を起さない」という防火の心を育めるよう、これからも幼少期からの防火教育を続けていきます。

消防副士長
河合 将太郎
児童防火教育指導者

未来につなげる
防火の心





令和3年度 火災予防に関する図画(ポスター)・習字の 優秀作品紹介

毎年、中濃地区幼年少年女性防火委員会主催で、関市・美濃市の幼・保育園児、小・中学生を対象とした、火災予防に関する図画(ポスター)・習字を募集しています。今年も図画の部に492点、習字の部に466点という、たくさんの応募がありました。火災予防について構成や色あいがよく工夫されており、また、とても丁寧に描かれている作品が多くありました。

厳正な審査の結果、次の作品が入選されました。なお、金賞受賞作品は、中濃消防組合の火災予防運動用ポスターとして採用させていただきます。

たくさんのご応募ありがとうございました。



美濃保育園年長
堀 陽智さん



金賞

★消防車を中心に、ホースやはしご等画面いっぱいに効果的に描いている。消防車の形をよく見て描き、助ける人、助けられる人をしっかりと様子を考えながら描き、ドラマがある。防火ヘルメットや防火服など、よく調べ、表情や動作まで表現できた。絵の具でしっかりと塗ること、混色で水の効果を出すなど頑張った。



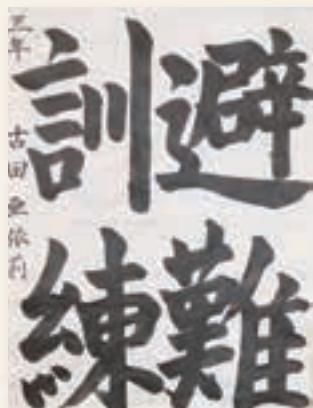
★まるで波のようにせまる大火に立ち向かう消防士の姿が見事に描かれています。とても迫力のある作品です。炎の色も赤一色ではなく、オレンジ、黄をまとめてより迫力のあるうねりを表現しています。画面構成においても、画用紙を縦にして、炎を大きく描きバックに燃え盛る街並みを描くことで、距離感を表現している素晴らしい作品です。



関市立金竜
小学校5年
長田 悠衣

関市立金竜
小学校5年
長田 悠衣花さ

紙いっぱいに広がった文字に迫力があります。墨の量が多く、力強さを引き立てています。筆の払いに迷いがなく、美しい姿になっています。筆づかいのうまさのよく伝わってくる作品です。



どっしりとしたすきのない風格さえ
感じられる作品です。一画一画淀み
なく流れていく見事な作品に仕上
げています。基礎基本のしっかりし
た技の上にリズミカルな躍動感が
表現されています。

[図画の部]

その他の入選者（敬称略）

銅賞	山岡 紗蘭(美濃保年長)	近藤 あかり(美濃保年長)
努力賞	市原 蓮斗(美濃ふたばごと)も年長	後藤 柚和(緑ヶ丘中3年)
銀賞	吉村 勇人(倉知小4年)	児山 由奈(昭和中3年)
銅賞	梅村 桜都(美濃保年中)	梅村 情慈(美濃保年中)
努力賞	国崎 陸人(美濃保年長)	国崎 優季(美濃保年長)
銀賞	北村 瑛士(美濃保年長)	北村 拓真(かえで保年長)
銅賞	長屋 鈴木 愛加(美濃ふたばごとも年長)	長屋 野倉 野中 大新(美濃ふたばごとも年長)
努力賞	小島 彩佳(下有知中3年)	藤川 結衣(倉知小4年)
銀賞	松井 葵(大矢田小3年)	野中 野中 野中 野中
銅賞	平田 あや(安桜小6年)	野中 野中 野中 野中
努力賞	塙原 千晴(小金田中1年)	野中 野中 野中 野中
銀賞	後藤 さくら(倉知小1年)	野中 野中 野中 野中
銅賞	山田 りん(藍見小3年)	野中 野中 野中 野中
努力賞	鈴木 聖奈(桜ヶ丘中2年)	野中 野中 野中 野中
銀賞	佐藤 里虹(桜ヶ丘中3年)	野中 野中 野中 野中
銅賞	辻 那帆(倉知小2年)	野中 野中 野中 野中
努力賞	塙原 羽奈(大矢田小4年)	野中 野中 野中 野中
銀賞	山口 彩乃(金竜小5年)	野中 野中 野中 野中
銅賞	松尾 桃花(金竜小5年)	野中 野中 野中 野中
努力賞	大法 澪奈(金竜小6年)	野中 野中 野中 野中
銀賞	武藤 樹里(下有知中1年)	野中 野中 野中 野中
銅賞	平田 琴音(桜ヶ丘中2年)	野中 野中 野中 野中
努力賞	蔵園 悠緑(ケ丘中2年)	野中 野中 野中 野中
銀賞	小塙 心鈴(緑ヶ丘中3年)	野中 野中 野中 野中

人事行政の運営、給与などの状況の公表

中濃消防組合の人事行政運営における公平性、透明性を高めるため、職員数、給与、勤務時間、勤務条件などの状況を公表します。詳細については、組合ホームページをご覧ください。

I 職員の任免および職員数について

① 職員数の状況と主な増減理由(各年4月1日現在)

区分	職員数(人)		対前年 増減数	主な増減 理由
	令和2年	令和3年		
消防職員 (女性職員)	170人 (5人)	172人 (6人)	2	退職 補充

② 採用試験の受験者と採用者(令和3年4月1日採用)

試験区分	申込者数	受験者数	最終合格者数	採用数
消防吏員	15人	13人	4人	4人

II 職員の給与の状況について

① 人件費の状況(令和2年度普通会計決算・単位千円)

歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)	前年度人件費率
1,709,700	1,298,324	75.9%	76.2%

② 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況(令和3年4月1日現在)

平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
277,887円	339,444円	36.5歳

③ 職員の初任給の状況(令和3年4月1日現在)

区分	中濃消防組合	国
大学卒	182,200円	182,200円
高校卒	150,600円	150,600円

III 勤務時間、その他の勤務条件の状況について

① 勤務時間

毎日勤務職員

開始時間	終了時間	1日の勤務時間	1週間の勤務時間
8:30	17:15	7時間45分	38時間45分

隔日勤務職員

開始時間	終了時間	夜間勤務時間	1当直の勤務時間	1週間の勤務時間
8:30	翌日の8:30	22:00～7:00 を交代で勤務	15時間 30分	38時間 45分

② 育児休業等取得者数(令和2年中に新たに育児休業(部分休業)を取得した職員数)

区分	育児休業取得者数	部分休業取得者数
職員数	0人	0人

IV 職員の分限および懲戒処分の状況(令和2年度)

免職	停職	減給	戒告
0人	0人	0人	0人

V 職員の服務の状況について(令和2年度)

区分	許可件数	主な許可内容
職務専念義務の免除	0件	—
営利企業などの従事	0件	—

VI 職員の研修および勤務成績の評定の状況について

① 研修の実施状況(令和2年度)

研修項目	受講者数	研修内容
組合独自研修	512人	職員研修会、警防技術発表会など
岐阜県消防学校	26人	初任教育、専科教育、幹部教育など
岐阜県市町村職員研修センター	84人	課長級・係長級などの階層別研修、人事評価研修、行政実務研修などの専門・実務研修
その他の派遣研修	95人	消防大学校、救急救命研修所、救急救命士病院研修、JPTECなど

② 勤務成績の評定の状況

評価の基準日	10月1日	3月1日
評価の対象職員	全職員	
評価項目等	能力評価	職位ごとに特に必要とされる項目により評価
	業績評価	業務を進める上で当該職員に与えた職務の役割度(難易度)と業績度を基に評価

VII 職員の福祉および利益の保護の状況について

① 健康診断実施の状況(令和2年度)

区分	受診者数
人間ドック	23人
年代別総合健康診断	136人
特定業務従事者健康診断	135人

② 公務災害の発生状況(令和2年度)

区分	認定件数
公務災害	0件
通勤災害	0件

③ 共済制度

岐阜県市町村職員共済組合に加入し、職員の生活の安定と福祉の向上を図っています。また、中濃消防組合職員互助会を通じて、福利厚生の増進を図っています。

④ 措置要求および不服申し立ての状況(令和2年度)

措置要求および不服申し立てはありませんでした。

中濃北から南から

あらかると

～各署所のできごとを紹介します～

→ 美濃消防署 病院選定



病院選定とは、救急隊がケガや病気の人（「傷病者」）を、どの病院へ運んだら良いかを判断することを言います。

判断する基準には色々なものがありますが、基本は傷病者の状態に最も適した病院を選定します。

病院選定をする際には、重症度、緊急度はもちろんのこと、専門の病院、通院中の病院、発生した場所から近い病院なども考慮します。専門の病院とは、脳・心臓・肺、ケガ、子供や妊婦さんなどを専門的に治療する病院を言います。また、救急隊だけでは判断が難しい場合には、医師へ確認することもあります。

昨今、緊急度が高い場合は早期に治療開始のため、ドクターヘリを選定する活動も増えています。

救急車を呼ばれる方の中には、搬送病院を希望される方もみえます。しかし、様々な理由により、ご希望の病院への搬送ができないこともありますので、ご理解ください。

→ 武芸川出張所 身近に潜む危険

全国的に救急出場件数は年々増加傾向にあり、最近では新型コロナウイルス感染症に関連する救急出場など、救急車を呼ぶ内容は多様化しています。

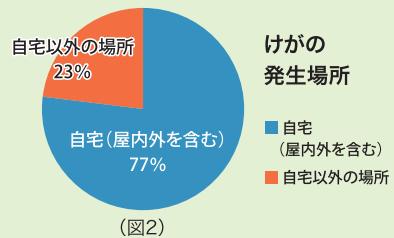
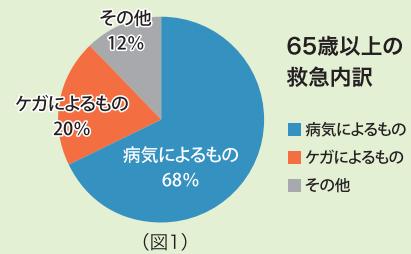
武芸川地域でも、救急出場件数は年々増加傾向にあります。武芸川地域内で過去5年間に発生した救急事案を基に、「何歳の方が」「どんな原因で」救急車を呼ばれたのか調べてみました。

その結果、救急件数の約6割が65歳以上の高齢者で、原因として1番多かったのが病気、2番目はケガによるものでした。（図1）

さらに細かく調べると、高齢者の方がケガをした場所のうち、約8割が「自宅」で発生していました。（図2）また、「自宅」でのケガのうち、家の中ではイスやベッドからの転落や廊下での転倒が多く、家の外では玄関や庭での転倒が多いという結果が出ました。

これらの結果から本来、「安らぎの場所」とも言える「自宅」に多くの危険が潜んでいることがわかります。

今一度、家の中や外に潜む危険について見つめ直し、「安らぎの場所」での事故を防ぎましょう。



→ 関消防署 救助隊員の夏

消防の夏の風物詩と言えば……そう!! 消防救助技術大会です。

東海地区では例年8月に、3県（愛知・岐阜・三重）の救助隊員が救助技術の訓練成果を競う地区指導会として開催され、入賞すると全国消防救助技術大会へ出場することができます。

中濃消防組合からは、毎年、関消防署の特別救助隊員を中心に行われるロープブリッジ救助という訓練種目に登場しています。

ロープブリッジ救助とは、4人一組（要救助者を含む）のチームで行い、建物などに取り残された人（要救助者）を隣の建物から進入し救助することを想定した訓練です。救助方法は、隊員3人のうち2人が水平に張られたロープを渡り、要救助者の体にロープを結着し、残りの1人が要救助者を引っ張り出す訓練です。

大会出場のために選ばれた隊員は、非番日や夜間の休憩時間も利用して要救助者にロープを結着する訓練、自身にロープを結着する訓練などを先輩隊員の指導のもと実施します。

今年は、コロナ禍ということもあり無観客での大会が行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年に引き続き中止となってしまいました。

来年こそ、消防救助技術大会が開催され、訓練の成果が発揮できるよう、新型コロナウイルス感染症の収束を願いつつ、今後も訓練を続け、救助技術を磨いていきたいと思います。



→ 洞戸出張所 水難救急事故対応訓練

世界中で猛威をふるい感染拡大している新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響もあり、キャンプなどのアウトドアブームとなっています。

毎年夏になると、川遊びやバーベキュー、キャンプを目的に、県内外から多くの方が洞戸・板取地域を流れる板取川を訪れます。しかし、アウトドアを楽しむ中、飲酒をしての遊泳による水難事故や、炎天下でのバーベキュー、テント設営での熱中症による救急事案が多く発生し、その件数は年々増加しています。

そこで、洞戸出張所と板取川出張所が合同で、水難救急事故対応訓練を実施しました。PFD(水難救助活動時に使用しているライフジャケット)の正しい着装方法の再確認や、河川からの搬出訓練を行いました。もしもの時には、連携を図りながら迅速な対応ができるよう訓練を行っています。



→ 津保川出張所 地域の見守り役が「お色直し」!?

津保川出張所には、20年以上に渡り地域を見守り続けた看板があります。この看板は防火活動の一環として、住民の皆さんの協力を得て建てられたものです。しかし、大切な看板も長い年月により、損傷が激しい状態に私達は心を痛めていました。そこで、職員の手で「お色直し」をしました。

ちなみに、この看板は時季によって「火災予防運動実施中」「山火事予防月間」など、看板の内容が変わります。もし、津保川出張所の前を通ることがあれば、一度気にしてみてください。

キレイに生まれ変わった看板は、これからも上之保地域の防火活動をしながら、見守ってくれるでしょう。



令和3年度 全国統一防火標語

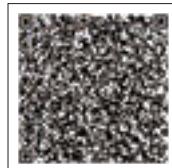
おうち時間 家族で点検 火の始末



秋の火災予防運動 11月9日(火)~11月15日(月)

防火・防災DVDの貸出しを行っています

※貸出しあは関市・美濃市内の方に限ります。
(個人・事業所・団体など)



中濃消防組合では、防火・防災に関するDVD(11月現在20作品)の貸出しを行っています。貸出しを希望される場合は、貸出しを希望する日の1週間前までに消防本部予防課(二三一九〇〇八)、または最寄りの消防署へお問い合わせください。様々なDVDを幅広くそろえており、事業所の防火・防災教育、自主防災会の訓練、子供たちへの防火教育にご活用ください。

※左のQRコードから貸出しのDVD一覧が確認できます。



おたより紹介

温かい言葉、貴重なご意見等たくさんいただきました!
ありがとうございます☆

★新型コロナウィルスによる大きな困難を迎えてる今日、最前線でご尽力下さっている皆様に、心より感謝と共にお礼申し上げます。
(関市・93才)

★コロナ禍で大変だとは思いますが、少しずつ良いので消防のイベントも増やして欲しいです。
(関市・48才)

★いつも消防士さんのお陰で安心して暮らすことができます。通学路を消防車が通ったとき、私が消防士さんに敬礼をすると、そのたびに敬礼でかえしてくれます。やさしい消防士さんが大好きです。危険な仕事ですが頑張ってください。
(美濃市・12才)

拍子木

みんなこんにちは!
今回の消防の「いま」と「むかし」組合発足50周年特集いかがでしたか?
この50年で世の中も大きく変化し、消防車や救急車、レスキュー隊の救助資器材など消防に関わる「物」が、どんどん進化してきたことが、分かっていただけたかと思います。
しかし、これらを使いこなすのは、「人」です。技術の革新に負けないよう、私達も、日々努力を続けていきます。
秋の深まりとともに、空気も乾燥していきます。火の元には十分注意しましょう。

(編集 総務課 広報担当)

